

キルケゴール

2018 年追試

問 6 次のア～ウは、キルケゴールの思想を説明した記述である。その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 34

ア ヨーロッパの人々が、生きる意味や目的を失ってしまったのは、キリスト教道徳に原因があり、そのキリスト教道徳は弱者が強者に対して抱く「ルサンチマン」に基づいている。

イ 人は倫理的に生きようとする、欲望を「あれも、これも」満たす生き方にとどまることはできず、自らの生き方について「あれか、これか」の決断を迫られざるを得ない。

ウ 人間は自由な存在である。だが、自由に自分の生き方を決められるということは、その選択の責任がすべて自分にかかることを意味する。人間のこのあり方は「自由の刑に処せられている」と表現される。

- |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ① | ア | 正 | イ | 正 | ウ | 誤 |
| ② | ア | 正 | イ | 誤 | ウ | 正 |
| ③ | ア | 正 | イ | 誤 | ウ | 誤 |
| ④ | ア | 誤 | イ | 正 | ウ | 正 |
| ⑤ | ア | 誤 | イ | 正 | ウ | 誤 |
| ⑥ | ア | 誤 | イ | 誤 | ウ | 正 |

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 1 問	問 6	34	⑤	3

2017 年本試

問 8 次の文章は、大衆社会をめぐる問題について説明したものである。文章中の  ～  に入れる語句の組合せとして正しいものを、下の①～⑧のうちから一つ選べ。

19 世紀以降にデモクラシーが拡大するに伴って、大衆社会をどう評価するかが思想上の課題となる。例えば、平均化・画一化された人間に  を対置したキルケゴールは、大衆社会批判の先駆けの一人でもあろう。彼は、世間の風潮に流される生き方を <sup>しりぞ</sup> 斥け、人は究極的には神の前の  として生きなければならないと考えたのだった。一方、20 世紀にはフランクフルト学派によって、ファシズムを支える大衆の  的な性格(パーソナリティ)が問題視されたが、それと同時に娯楽映画やポピュラー音楽などの大衆文化も、こうした状況を助長するものとして批判された。アドルノらによれば、規格化された大衆文化を漫然と消費している限り、人間の意識は画一化されてしまうからだ。とはいえ、ホイジンガの言うように  に文化の根源があるのだとすれば、芸術活動を一切排除した生もまたあり得ない。大衆社会状況のもとで芸術文化の可能性を探ることは、現代の重要な課題の一つだと言えよう。

- ① a 超越者      b 権威主義      c 工 作
- ② a 超越者      b 権威主義      c 遊 び
- ③ a 超越者      b 全体主義      c 工 作
- ④ a 超越者      b 全体主義      c 遊 び
- ⑤ a 単独者      b 権威主義      c 工 作
- ⑥ a 単独者      b 権威主義      c 遊 び
- ⑦ a 単独者      b 全体主義      c 工 作
- ⑧ a 単独者      b 全体主義      c 遊 び

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
------	----	------	----	----

第 1 問	問 8	8	⑥	3
-------	-----	---	---	---

2015 年追試

問 6 キルケゴールによる実存の諸段階についての説明として**適当でないもの**を，次の①～④のうちから一つ選べ。 

34
----

- ① 宗教的実存とは，絶望の果てに罪の意識におののきながらも，神と向かい合うことで，信仰に生きることである。そして，苦しむ他者を救うことによる喜びによって，社会性が獲得される。
- ② 倫理的実存とは，「あれか，これか」の決断をし，責任をもって良心的に社会生活を営む生き方である。だが，倫理的に生きようとすればするほど，かえって自己の無力さに絶望することになる。
- ③ 美的実存とは，「あれも，これも」と欲望に導かれて，快樂を求める生き方である。だが，結局のところ心が満たされないばかりか，かえって自己を見失うことによって，やがて絶望に陥ることになる。
- ④ 実存の諸段階をめぐる考察は，実存の質的弁証法と呼ばれる考え方を表現している。それは，世界のあり方を説明するものというより，現実 to 生きていく主体的な自己のあり方を明らかにする思想である。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 4 問	問 6	34	①	3

2014 年本試

問 7 次のア～ウは，現実と理想をめぐる，様々な思想家の考え方を説明したものであるが，それぞれ誰のものか。その組合せとして正しいものを，下の①～⑧のうちから一つ選べ。 35

ア 所有権も貧富の差も存在しない自然状態を理想とし，人々が金銭や名声を追い求める文明社会のあり方を批判する視点から，羨望や嫉妬に満ちた当時の社会を自然状態からの墮落であると論じた。

イ 真の信仰を問う視点から，人間は神の前の単独者として存在している事実を見据えるべきとし，平均化・画一化した当時の社会のなかで，人々が本来の自己のあり方を見失い，欺瞞的に生きていると批判した。

ウ 知性を創造的なものとみなす視点から，知性により社会が改善され，個人と社会が調和し，多様な価値が認められる民主主義社会が実現することを理想とし，教育が既成の価値観の単なる伝達となることを批判した。

- |            |          |          |
|------------|----------|----------|
| ① ア キルケゴール | イ ルソー    | ウ ハーバーマス |
| ② ア キルケゴール | イ ルソー    | ウ デューイ   |
| ③ ア ハーバーマス | イ デューイ   | ウ キルケゴール |
| ④ ア ハーバーマス | イ デューイ   | ウ ルソー    |
| ⑤ ア ルソー    | イ キルケゴール | ウ デューイ   |
| ⑥ ア ルソー    | イ ハーバーマス | ウ キルケゴール |
| ⑦ ア デューイ   | イ キルケゴール | ウ ハーバーマス |
| ⑧ ア デューイ   | イ ハーバーマス | ウ ルソー    |

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 4 問	問 7	35	⑤	3

2013 年追試

問 9 次のア～ウは、責任について考えた思想家たちを説明したものであるが、それぞれ誰のことか。その組合せとして最も適当なものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 

9
---

- ア 自然を支配する近代的思考の <sup>ごうまん</sup>傲慢さを批判し、あらゆる生物の生命を価値あるものとして尊ぶことが倫理的な存在としての人間の責任だと説いた。
- イ 核戦争によってもたらされる人類絶滅の危機を打開するために、世界の科学者とともに、核兵器の禁止と平和に対する科学者の社会的責任を唱えた。
- ウ 実存の三段階を考え、社会における自分のあるべき姿を追求し、それに責任をもって生きていこうとするあり方を倫理的実存とした。

- |   |   |          |   |          |   |          |
|---|---|----------|---|----------|---|----------|
| ① | ア | シュヴァイツァー | イ | ラッセル     | ウ | キルケゴール   |
| ② | ア | シュヴァイツァー | イ | キルケゴール   | ウ | ラッセル     |
| ③ | ア | ラッセル     | イ | シュヴァイツァー | ウ | キルケゴール   |
| ④ | ア | ラッセル     | イ | キルケゴール   | ウ | シュヴァイツァー |
| ⑤ | ア | キルケゴール   | イ | シュヴァイツァー | ウ | ラッセル     |
| ⑥ | ア | キルケゴール   | イ | ラッセル     | ウ | シュヴァイツァー |

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 1 問	問 9	9	①	3

2012 年追試

問 6 キルケゴールの「主体的真理」の説明として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 27

- ① 人が，その都度の行為において，自らの人生に充実感や豊かさを与えるために有用であると認める観念
- ② 人が，自己自身に誠実に生きるために，自らの身を <sup>きさ</sup>捧げてでも決断と行為によって実現したいと願う理念
- ③ 人が，自己の有限性に対する絶望を克服するために，愛しつつ闘うことで獲得すべき他人との真の交わり
- ④ 人が，矛盾に満ちた社会において，理不尽な抑圧から脱するために闘争を経て実現すべき新しい関係

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 4 問	問 6	27	②	3

2009 年本試

問 5 倫理的であろうとすると絶望せざるを得ない人間の現実に関して、キルケゴールはどのように考えたか。その説明として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 27

- ① 本来の自己を見失って絶望する人間は、理性によっては根拠づけられないことのない信仰への決断によって、本来の自己を回復できる。
- ② 現世の悪に絶望するキリスト者は、神から与えられた現世の務めに専心することによって、人間としての本来のあり方を獲得できる。
- ③ 超越的な神がもはや存在しない現実に絶望する人間は、自ら覚悟をもって価値創造に挑むことで、本来の力を獲得することができる。
- ④ 肉体を支配する悪の原理に絶望するキリスト者は、信仰による決断を通して、魂を肉体から解放し、本来の故郷に帰ることができる。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 4 問	問 5	27	①	3

2006 年本試

問 6 「実存」を重視した思想家にキルケゴールがいる。彼の思想の記述として最も  
適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。 27

- ① 日常的な道具は使用目的があらかじめ定められており、本質が現実の存在に先立っているが、現実の存在が本質に先立つ人間は、自らつくるところ以外の何ものでもないと考えた。
- ② 宇宙はそれ以上分割できない究極的要素から構成されているが、この要素は非物的なもので、それら無数の要素が神の摂理のもとであらかじめ調和していると主張した。
- ③ 生命は神に通じる神秘的なものであるから、人間を含むすべての生命に対して愛と畏敬の念をもつべきであり、そのことによって倫理の根本原理が与えられると考えた。
- ④ 人が罪を赦され、神によって正しい者と認められるには、外面的善行は不要であり、聖書に書かれた神の言葉を導きとする、内面的な信仰のみが必要だと主張した。
- ⑤ 誰にとっても成り立つような普遍的で客観的な真理ではなく、自分にとっての真理、すなわち自らがそのために生き、また死にたいと願うような主体的真理を追求した。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 4 問	問 6	27	⑤	3

2004 年追試

問 1 文章中の  ・  に入れる人物として正しいものを、次の①～⑥のうちからそれぞれ一つずつ選べ。

- ① ヤスパーズ      ② ニーチェ      ③ カミュ  
④ キルケゴール      ⑤ マルセル      ⑥ サルトル

問 2 文章中の  ・  に入れる語句として正しいものを、次の①～⑥のうちからそれぞれ一つずつ選べ。

- ① 包括者      ② 絶対者      ③ 単独者  
④ 異邦人      ⑤ 聖人      ⑥ 超人

19 世紀のヨーロッパにおいて、実存主義の先駆者とされる  や  らは、人々が大衆化して、不安や孤独感から逃れようとしつつあった当時の時代状況を批判していた。 は、当時の世俗的な風潮、世俗化した宗教と戦いながら、神の前に  として立つことを求めた。また  は、「神は死んだ」という宣言をもって、伝統的な宗教に集う人々の在り方を批判し、 となって新たな価値を創造することを求めた。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 4 問	問 1	28	④	2
第 4 問	問 1	29	②	2
第 4 問	問 2	30	③	2
第 4 問	問 2	31	⑥	2

2000 年追試

問 5 キルケゴールについての記述として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 

13
----

- ① 外面的な善行や客観的に認識される真理ではなく，聖書に基づく個人の純粹な信仰を重んじる信仰義認説を提唱した。
- ② 死に至る病とは，死への存在としての人間の本来性を自覚せず，他者と代替可能な自己のままに生きることだと指摘した。
- ③ 現代は，熟慮が情熱に優先し，<sup>だれ</sup>誰もがどうすべきかを知っていながら，誰一人行動しようとはしない平均化された分別の時代であるとした。
- ④ 人生の意味を求める中で世界から拒絶されるという不条理に出会っても，人は神に救いを求めず，この不条理を直視して生きなければならないと主張した。

問題番号	設問	解答番号	正解	配点
第 2 問	問 5	13	③	3